

信州大学を目指す高校生みなさんへ

私たちは男女共同参画に**ホンキ**で取り組んでいます!

信州大学は、すべての構成員が個性と能力を発揮できるように職場環境・教育環境づくりを進めています。

濱田州博 学長



ぜひ多様な学生さんに
来ていただきたいですね。
学ぶ環境を整えて
お待ちしております。

専門知識だけでなく、多様な分野を俯瞰する力を持った人材が求められ、自ら課題を発見し、解決していく能力が必要とされる社会になってきています。みなさん一人一人の力をもとに、さまざまな分野において男女共同参画が推進されると、きっとそれが可能になると信じています。

人文学部 早坂俊廣 学部長



自分のやりたいことを
とことんやることは、
男性女性に限らず
必要です。

当たり前すぎて意識もしていないようなことが抱えている問題に気付けるところが人文学だと思います。本学でたくさん学んで社会に出て、学んだことをどんどん周囲に発信し、これまでの当たり前が当たり前ではなかったということに社会全体で気づいていけるような、そういう社会の担い手になってください。

教育学部 宮崎樹夫 学部長



これからは、女性と
男性が夢に向かって
互いに支え合い、
共に高め合っていく
時代です。

自分が育った環境や経験に振り回されることなく、女性と男性が各々の夢に向かって、互いを支え合い、共に高め合いつつ、前に進んでいこうとする姿が当たり前になっていきます。こうした意識改革が世代を超えて拡がり社会の隅々にまで満ちあふれていくよう、エンカレッジしていきます。

経法学部 山沖義和 学部長



経済的・法律的観点から
男女共同参画社会に
ついて一緒に考えましょう。

いろいろな講義を通じて、男女共同参画を含めた社会の多様性とは何か、多様性を認めるために何が出来るか、何をすべきかについて、教員とともに一緒に考え、実行していくことが重要です。

理学部 市野隆雄 学部長



自然科学への興味に
性差はなく、自然の
不思議を感じる心や
ワクワクする気持ちは
誰にでもあります。

自然科学への興味に性差はなく、自然の不思議を感じる心やワクワクする気持ちは誰にでもあります。理学部の学部生は2~3割が女性です。彼女たちが研究者として戻ってくるために、大学院進学への後押しや、ロールモデルとなる女性研究者と出会う機会が重要だと考え、大学院進学説明会等を行っています。

医学部 中山 淳 学部長



多様性を尊重し、
皆が能力を発揮できる
環境を整えていきます。

医療は、医師、歯科医師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、薬剤師など、その領域において高い専門性を有する医療者と共にチームで行うものです。未来を担う医療人として、知識や技術だけでなく、ひとりの人間としても成長していけるような医学教育を実践しています。

工学部 天野良彦 学部長



工学部は女子学生の
比率が他学部より低いですが、
今後高くなることを見越して、
女子学生へのサポートを
考えていきます。

2018年度に新たに女子寮を作ったり、実験時に着替えることも多いので更衣スペースの確保についても検討しています。

※工学部若里寮の改修には、建築学科の女子学生も携わりました。寮の様子は下に掲載しています。

農学部 藤田智之 学部長



男女が同じように学び、
働ける環境づくりの
ために、農学部からも
変えていきます。

農学部の修士課程には約3割、博士課程には約2割の女子学生がおり、大学院の女子比率は増えてきました。男女は身体的特徴が異なり、役割は完全には平等になりませんが、互いの長を踏まえ、みな学び、働きやすい環境をつくるよう取り組んでいます。

繊維学部 下坂 誠 学部長



力を発揮できずにいる
女子学生がいるのは
損失です。

繊維学部の学部生は約4分の1が女性ですが、やる気のある学生に男女の別はなく、研究者に向いていると思う学生ももちろん男女問わずいます。お手本となる女性教員をもっと増やして、女性研究者を増やしたいですね。また、女性が増えて元気になることで男性もまた元気になると思うので、双方がイキイキできる場を作っていきたいと思っています。

工学部女子寮

2018年10月、男子専用だった工学部若里寮を一部改修し、新たに設置された女子寮。その一期生となった2人の女子学生の声です。



廣澤美帆さん(建築学科3年生)*

1年生の時はこまく寮に入っていました(※松本キャンパスから徒歩15分。各学部の1年生が入寮できる)。2年生に進学して長野(工学)キャンパスになり、寮に入りたかったのですが、当時は工学部に女子寮がありませんでした。アンケートでの要望が叶って女子寮ができたと聞いています。また、これからその計画が始まるというときに建築学科に声がかかり、自分が住みたい場所の改修(男子寮の一部を女子寮に改修した)に関われたことは良い経験になりました。

浅野恵生さん(電子情報システム工学科3年生)*

以前は自宅から通っていたのですが、遠くて大変でした。寮はアパートよりお金がかからないし、大学に近いので朝もゆっくりできます。遠くから通うのは、通学時間がもたないと思いました。

※取材(2018年度)当時

